ゆり　5月

園庭に、ダンゴムシやカタツムリ、カエルなど小さな友達が集まってきています。見つけるたびに「こんなに見つかった！」と嬉しい報告が聞かれます。小さな友達は子ども達に沢山の事を教えてくれます。小さな命とのふれあいの時間を大切にしていきたいと思います。

野菜を育てています！

畑に野菜の苗を植えました。一組はマグばあさんとメグばあさんから、二組はぐりとぐらから野菜の苗が届き、驚きと喜びの中、早速何の野菜なのかを図鑑や本を広げ調べていました。「これ、きゅうりや！」「この葉っぱ似とる。」と苗と本に出ている野菜とを見比べる目は真剣でした。苗を植えに畑へ行くと、「早く食べたい～。」「お世話せんなん。」と育てる事への意欲満々な姿が見られていました。今では園庭へ出ると、「大きくなったな？」「お水あげてくるわ！」と真っ先に畑に走って行く子ども達です。収穫したらどうやって食べようかと今からワクワクしています。

自分達で育てる経験が食べる意欲につながって欲しい、食べることは元気な体を作る事を知って欲しいと願っています。

【おいしいお店がオープンしました】

１くみ、２くみお互いのお店を行き来したり、他クラスのお客さんも来店し、どちらのお店も大繁盛しています。

１くみ：スープ屋さんをオープン！

きっこちゃんとちいとにいがスープを作る「おなべおなべ　にえたかな？」の絵本が大好きな子どもたち。何度も見ているうちに「絵本みたいにスープ食べたいな～」「スープ屋さんしたらみんな食べられるんじゃない？」と子どもたちから意見が上がりました。まずは積み木でかまどを作ると次に「にんじんスープには何が入ってる？」「しお、こしょうも入れてるよ！」と絵本を見ながらみんなで材料を準備し、スープ屋さんをオープンしました！店員さんになった子どもたちは「じゃあ私が注文聞くね！」「じゃあ僕がスープ作る！」と役割を自分たちで分担したり、「次はバター入れるんだよね」と話し合いながら協力して作る姿が見られます。絵本に出てくる「おなべおなべにえたかな？にえたかどうだか食べてみよ」の言葉を言うとスープが美味しく煮えた合図です。絵本の言葉や友達との楽しいやりとりで部屋の中は盛り上がっていますよ。

２くみ：はちみつやへいらっしゃい！

桜の花が散り、桜の木にサクランボの実を発見！保育室の桜の花があっという間にサクランボに様変わりしました。そして、蜂が飛び始めている事にも気づく子ども達。蜂と言えばハチミツ！「ハチミツを使った料理を出すお店屋さんをしたらどうかな？」そんな友達の提案に「いいねぇ！」と盛り上がり、メニュー決めから開店準備まで忙しい毎日を経て、いよいよ『はちみつや』がオープンしました！「いらっしゃいませ～」と元気な声が聞こえてきています。店員さんは「はい！何にしますか？」「〇〇ですね。少々お待ちくださ～い。」お客さんは「これとこれくださ～い。」「すみませ～ん、あとこれもくださ～い。」と本物さながらのやりとりが見られ、経験と想像が遊びに反映されていることが感じられます。

散歩での気づきから、構成遊びやごっこ遊びに発展する子ども達の観察力と発想力、想像力など沢山の力が育っている事も感じられます。

親子バス遠足たのしかったね！

先日はお忙しい中、親子バス遠足にご参加いただき、ありがとうございました。親子で一緒に楽しい時間を過ごすことが出来、笑顔がいっぱいあふれていましたね。

●ゲームの楽しい時間●

ゲームを楽しむ中で、子ども達が最も真剣になること、それは勝負を楽しむ事。もちろん勝ちたいと思って毎回ゲームを始めます。でも勝っても負けても楽しい！それが勝負を楽しむということなのではないかと思っています。

子どもたちはゲームを通して、ルールの大切さが分かったり、いろいろな気持ちを体験したり、友達と心を通わせたりしながら相手の気持ちに思いが及ぶようになっていきます。また、少しずつ自分の気持ちを抑えられるようにもなり、より遊びを楽しめるようになっていきます。

子どもたちの真剣勝負の中にある気持ち、心の育ちを大切にしていきたいと思います。